

強害雑草「イチビ」に卓効を示す飼料用とうもろこし用除草剤 「ハロスルフロンメチル水和剤」

強害雑草「イチビ」は異臭がするため、サイレージに混入すると家畜の嗜好性が低下し、牛乳中にも異臭が移行することが知られている。平成11年度に飼料用とうもろこし用として新たに登録された「ハロスルフロンメチル水和剤(商品名:シャドー水和剤)」はイチビに対する除草効果が高く、実用性が認められた。

表1 除草効果

除草剤名	処理量 (/a)	残草量:無処理区比(%)					合計	薬害
		イチビ	イヌビユ	アカザ類	広葉計	レッドトップ		
シャドー水和剤	5.0g	5	16	106	30	66	56	無
シャドー水和剤	6.0g	5	6	148	30	86	71	無
デュアル乳剤+ゲザプリムフロアブル(生育)	30ml+15ml	27	24	0	20	0	5	無
デュアル乳剤+ゲザプリムフロアブル(土壌)	30ml+15ml	27	57	10	46	0	12	無
ゲザノンフロアブル	40ml	45	53	0	43	0	11	無
無処理		28	203	47	278	799	1077(g/m ²)	

注) 上記体系処理区の(生育)は生育期(6/17)処理、(土壌)は播種後(5/22)処理

表2 他機関における成績(岩手農試県北分場)

除草剤名	処理量 (/a)	イチビ生重 無処理区比 (%)	薬害
シャドー水和剤	5.0g	0	無
	7.5g	0	無
	10.0g	0	無
比)アトラジン水和剤	15.0g	11	無
無処理		193(g/m ²)	

耕種概要
 田畑別:普通畑
 品種:P3540
 土質・土性:黒ボク土壌
 処理方法:茎葉処理
 処理時期:6/2
 処理時の雑草発生状況
 イチビ 1~3葉、シロザ 2葉、
 イヌビユ 1~2葉
 調査日:7/11

「ハロスルフロンメチル水和剤(商品名:シャドー水和剤)」は、飼料用とうもろこしの3~5葉期に10アール当たり50gを水100リットルに希釈して散布する。ただし、散布直後の降雨により薬害が生じる場合があるので、天候を見極めて使用する。また、使用回数は1回とする。

なお、シャドー水和剤はイチビには卓効を示すが、その他の雑草には効果が低い。したがって、イチビ以外にも雑草の発生が見られるような場合には、土壌処理剤との体系処理で使用する。



写真1 とうもろこし畑に発生したイチビ